

会 議 録

会 議 名	第24期小金井市公民館企画実行委員の会議 第19回		
事 務 局	小金井市公民館 緑分館		
開 催 日 時	平成30年2月6日(火) 午前10時～12時		
開 催 場 所	小金井市公民館 緑分館 生活室		
出 席 委 員	大島委員、大野委員、杉井委員、横須賀委員		
欠 席 委 員	山本委員		
事 務 局 員	服部主査、岡本主任、山本(非常勤)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 音楽鑑賞のつどいについて</p> <p>(2) 第54回東京都公民館研究大会について</p> <p>(3) 公民館運営審議会について</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 緑センターまつりについて</p> <p>(2) 成人大学講座について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 東京都公民館研究大会報告会について</p> <p>(2) ロッカー抽選及び利用者懇談会について</p> <p>(3) 三者合同研修会について</p> <p>(4) 来年度講座について</p> <p>(5) 日程確認について</p>		

会議結果(要旨記録)

司会：横須賀委員

1. 報告事項

(1) 音楽鑑賞のつどいについて

山本非常勤：2月2日金曜日から申込受付を開始した。定員80名だが、当日の欠席者を見込んで90名受付ける予定。現在85名の申込があっており、あと5名で締め切る。それ以降のキャンセル待ちは受けない。今年度も、島田委員に司会をお願いすることになっている。2月25日に、講師がリハーサルのために来館されるので、その際に島田委員にも来ていただき、顔合わせ、打ち合わせを行う予定。講座は3月4日日曜日の午前10時から実施するので、企画実行委員のみなさんには9時に来ていただいてご協力をお願いしたい。

(2) 第54回東京都公民館研究大会について

岡本主任：2月3日に東京都公民館研究大会が開催された。午前中は、多摩六都科学館で学芸員をされている方の講演が行われ、午後からは、4つの課題別集會が行われた。公民館研究大会の報告会が、本日午後2時より本館にて開催される。ご都合のつく方は是非ご参加願いたい。

(3) 公民館運営審議会について

服部主査：平成30年1月25日に小金井市公民館運営審議会の方、第4回が行われた。三者、公運審委員、社会教育委員、図書館協議会委員の合同会議については、様々なご意見が出たが、そのご意見に対しては、今後検討していきたいとのことだった。都公連委員部会運営委員会については、第7回から第10回まで行われ、いずれも昭島市公民館にて開催され情報交換を行ったという報告があった。三者、公運審委員、企画実行委員、職員館協議会委員の合同研修会については、平成30年2月20日火曜日、午前10時から緑分館学習室で開催予定となっている。テーマについては、「日本が国際社会に適合していくために公民館の果たす役割や公民館だからこそできることについて考える。」というものになる。出席については後ほど確認する。公民館事業の報告については、本館から貫井南分館、東分館とあって、緑分館からは、高齢者学級「みどり・木の樹学級」陶芸入門教室が提出されている。審議事項については、公民館事業の計画について、国際交流イベント「ワイン好き必見！モルドバ共和国」が上程されたが、特に質問はなかった。

(4) その他

服部主査：1月18日木曜日に、共働夢農園の方、野外研修に行ってきた。天候にも恵まれ、事故なく無事に終わったので、みなさまにご報告させていただく。

2 協議事項

(1) 緑センターまつりについて

岡本主任：緑センターまつりは、6月1、2、3日を予定しており、各サークルに準備会

の案内をしている。準備会は3月20日の午後2時から行うので、企画実行委員のみなさまにもご参加いただきたい。センターまつりの記念イベントは、現在、緑中学校と調整をしている。合唱部からは、合唱部だけで2時間使うのは難しいと言われているので、他の部活にも協力してもらえないか、確認をとっているところだ。センターまつりは6月開催で、4月に新学期が始まったばかりで、部員の入れ替わりなどもあって難しい部分もある。緑中と連絡を取りながら、調整はしているが、また、企画実行委員のみなさんにご相談させていただきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

(2) 成人大学講座について

岡本主任：例年2月の企画実行委員会で来年度の成人大学講座の内容について協議していたので、みなさんにご意見をいただきたい。これまで、工学系と農学系の内容を一年毎に順番で行ってきており、今年度は工学系の内容だった。順番だと来年度は農学系だが、農学系の内容でいいだろうか。

大野委員：工学系の方が人気があるが、大学との兼ね合いもあるので、こちらで決められないのではないか。

岡本主任：大学の担当者との話し合いでは、農学系でも工学系でも対応はしていただけることになっている。ただ、順番では農学系なので、農学系でもどうやったら人気が出るのか、集客できるのかというのは、我々職員側の周知能力やチラシの作り方が問題になってくると思う。一概に、農学系だから人が集まらないということではなく、職員側の工夫も必要だ。逆に人が集まらない場合は、講座の担当者のPR不足だということになる。

横須賀委員：毎年3回の講座を行っているが、3回とも農学系、工学系で統一しなければならないのか。例えば、2回を工学系、1回を農学系にすることはできないのか。

岡本主任：その点については、大学の担当者を確認したことがなかった。大学側の担当者によると、講師の選び方としては、農学系か工学系が決定したら、担当者からその学部の先生に打診するそうだ。学部の先生は、会議で日程と内容で調整をし、講師を決定するそうだ。今年度は、担当者から打診された学部の先生が、3名の講師を指名し決定したそうだ。学部が違くと調整が二重になってしまうので、その点が難しいかもしれない。

大野委員：先日、科学技術館で知ったのだが、ぶどう畑の様な所で作業している人は、常に中腰でとても負担になるので、その負担を軽減するためのロボットが開発されたそうだ。そういったことを取り上げることはできないか。

横須賀委員：先日のAIの講座でもわかるが、ロボットに関心を持っている人は多い。

岡本主任：では、農業の最先端技術やロボットを使った新たな農業などのテーマを大学側の担当者に提案してみて、来月の会議で報告させていただく。

3 その他

(1) 東京都公民館研究大会報告会について

岡本主任：先ほど公民館研究大会の報告の際にも触れたが、本日午後2時から公民館本館にて公民館研究大会の報告会が実施される。

(2) ロッカー抽選及び利用者懇談会について

岡本主任：ロッカー抽選会と利用者懇談会を3月30日に実施する。午前10時からロッカー抽選会を行い、そのまま引き続き利用者懇談会を行う予定。

(3) 三者合同研修会について

岡本主任：2月20日の午前10時より緑分館の学習室ABCで三者合同研修会を行う。出欠の確認だが、杉井委員以外は出席ということでよろしいか。

横須賀委員：この研修会ではどのようなことをやるのか。

岡本主任：今回は緑分館が担当ということで、当館には生活日本語教室があり、東京オリンピック、パラリンピックもあることから、国際化社会をテーマに研修会を行う。講師は東京外国語大学特任講師、長谷部美佳先生に依頼した。研修会の流れとしては、前半が長谷部先生の講演、後半は、その講演をふまえてのグループワークを行い、その後、グループ毎の発表、長谷部先生による統括で終了の予定。

(4) 来年度講座について

服部主査：来年度の講座について、来月3月15日号で共働夢農園の方が掲載される。今回、変更点として、人数が30名から24名ということで、他のコースと同じ人数になる。変更に関しては、共働夢農園の運営委員の方々と相談して決定した。親子コースについては担当の山本委員から。

山本非常勤：親子コースは、そもそも共働夢農園とセットなので、共働夢農園と同じ3月15日号にて募集する。

服部主査：来年度の講座について、担当者の変更、講座の曜日の変更等が決定したら、3月の会議でご提示をさせていただく。子ども体験講座についてだが、4回ということで予算がとってあるが、内容を少し変更させていただきたい。もし、ご提案があったら、企画実行委員の方からご情報をいただきたいと思います。特になければ、私の方で探してみようと思っている。

大島委員：体験講座ということは、何かを体験しなくてはいけないのか。

服部主査：野川とかクリスマスリースとか体を使ったり、物を作ったりする。野川とクリスマスリースは好評だったので、今年も継続ということで、あと2コマ何かあったら、3月の企画実行委員会のおきにお尋ねする。私の方でも探して、その時にご提案させていただきたいと考えている。また、2月18日のマイナンバー、10名ほどしか応募がない。オペラの方が好評と聞いているので、ポスターも今、オペラとモルドバをやっているが、オペラの方が終わったら、マイナンバーに変えて、館内の目立つ所に貼らせていただこうと思っている。

(5) 日程の確認

島田委員：日程の確認の前に、市民講座について提案させていただく。講師として適任の方を見つけたのでご紹介する。立教大学の准教授の稲葉さんという方で、NHKのクローズアップ現代にもコメンテーターとして出演していらっしゃる。この方のご専門は、高齢者と若者の住宅問題と生活保護の問題だ。今、高齢者の住宅問題はとても深刻だ。それと同時に、我々より少し若い世代で、非正規就労者だったり、結婚していなかったりする人たちは、将来、今の老人と同じような問題に直面することになる。そういった問題について、稲葉さんに講師をお願いして講座をお願いしたい。

大野委員：そういった講座を実施するとして、どういう人を対象にするのか。

島田委員：いつもの講座と同じように、広く募集しようと思ったが、公民館は地域とつながる、地域に種をまく場所だということということから、そういう住宅問題に直面している人々に聞きに来てほしい。

大野委員：分館長にお聞きしたいのだが、こういった講座を実施する場合、いいかどうかということに対しての責任は分館長にあるのか。例えば、朴の樹学級など担当者はいるけれど、緑分館でやる講座については、最終的に適当かどうかを誰かが判断しなければならないので、分館長に責任があると思うのだが。

服部主査：今、話を伺ったばかりなので、その内容を私が聞かないと判断できない。島田委員が講座をやりたいということだけはわかったが、事前にお話を伺っていただければよかったが、今、島田委員から伺ったので、内容について分館長が判断しろと言われても、もう少しお話を聞いてみなければ判断できない。話を聞いた後の3月の企画実行委員会でのご提示でよければ、今、お預かりする形しかできない。内容の判断を今しろと言われても困る。

横須賀委員：島田委員から提案された話は、もう少し内容を詰めるということによろしいか。

服部主査：市民講座は私が担当で、今、突然伺った話なので、お話をよく伺って3月の会議でご提示する。

大野委員：3月までに結論を出せるのであれば、それでいいのではないか。

岡本主任：講座を実施するかしないかは、最終的に服部が判断するということだが、もし、5月に講座を実施する場合は、2月20日から一般予約が始まるので、それまでに部屋を押さえておく必要がある。

服部主査：5月は無理だと思う。申し訳ないが、今、話を聞いたので、私と島田委員と話をさせていただいて、日程の関係は今、岡本から聞いたので、それをふまえてご相談させていただきたい。やるかどうかも含めて、お話し合いをお願いしたい。やらないことも選択にあるので、申し訳ないが。

(5) 日程の確認について

横須賀委員：モルドバの講座は、企画実行委員は全員出るのか。

岡本主任：国際交流イベントの担当は、杉井委員と島田委員なので、担当の委員だけ出ただけであれば結構だ。委員のご負担にならないようにしていただきたい。

横須賀委員：私も協力する。マイナンバーの講座は全員出るのか。

服部主査：色々とお手伝いいただくことがあるので全員出席をお願いしたい。

次回の会議 平成30年3月6日(火) 午前10時

公民館緑分館 学習室 司会：大島委員